

# にゅとぴあ 岸和田

岸和田市国際親善協会だより

ifa-きしわだ

城と祭りと輝く未来  
岸和田市制100周年



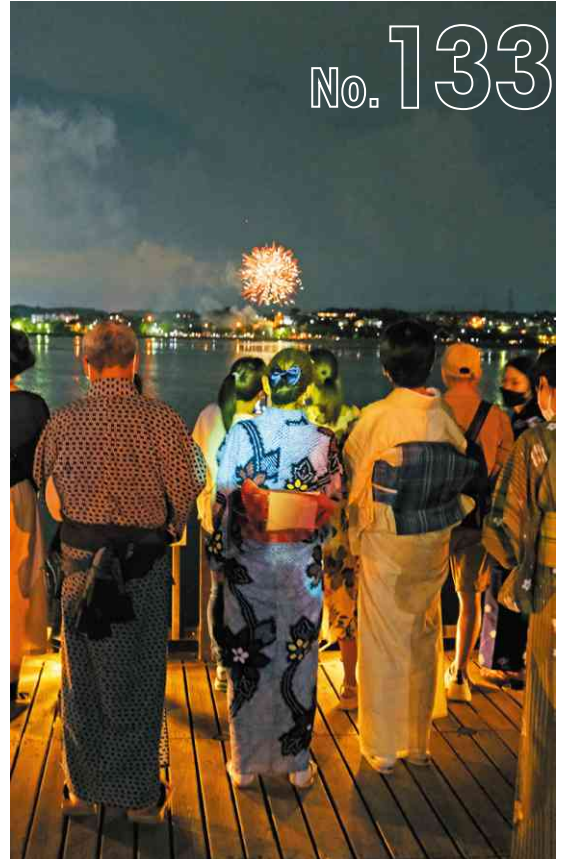
多文化共生講座

ゆかたを着て  
久米田池夏祭りに  
参加しよう。

8月6日(土)

昼間のうだる暑さがまだ残る夕暮れ、コロナ禍のため中止されていた「久米田池夏祭り」が3年ぶりに開催されました。フィリピン、ベトナム、中国のサロン生7名とKIMONOクラブを中心としたスタッフ10名が集合、まずは八木市民センターでゆかたに着替えます。ゆかたを着るのが初めてのサロン生も、KIMONOクラブが準備したゆかたを着せてもらえば、もう立派な日本人。すそがはだけないように気をつかいながら、慣れない草履や下駄でいざ久米田池へ。

久米田池周辺は人、人、人で大混雑、会場の特設ステージではフラダンスや二胡の演奏もあります。出演者の中には岸和田市国際親善協会のメンバーもあり、アットホームな雰囲気です。楽しんでください。



No. 133

いよいよ打ち上げ花火の時となります。池の対岸から打ち上げられる花火は会場からはとても良く見え、ゆかた姿で日本の夏を満喫し、みんな思いのポーズで夏の思い出を写真に収めました。ゆかたや小物の準備、そして何より着付けに協力してくれたKIMONOクラブの方に感謝します。

フィリピンのサロン生はご家族4人で参加、お父さんも初めてゆかたを着て大満足。八木市民センターに戻りゆかたを脱ぐ前に、名残惜しそうに何枚も家族で写真を撮っていた笑顔を見ると、もっといろいろな日本の文化を体験していただく機会を作りたいと思います。(事業部会)



無料配布中

「にゅとぴあ岸和田」は世界のひとびと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にしたい親善・交流を通してお互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



Since 1989

ifa-きしわだ  
岸和田市国際親善協会



ifa-kishiwada.rinku.org

6/18 Morris Ramnaps さん  
(土) (ナイジェリア連邦共和国)

6月18日に English Open Café が開催され 26 名が参加されました。ゲストは Morris Ramnaps さんで 7 年間日本に住んでおり、滋賀、広島、岡山、兵庫、大阪で生活しておりました。彼はナイジェリア出身で英語教師を始め、NPO 法人の国境なき医師団で働かれているクリスチャンです。趣味はサッカー、歌を歌うこと、旅行に行くこと等多彩であり、ナイジェリアの国歌と 2 曲のゴスペルを歌い彼の明るさに会場は大いに盛り上がりました。旅行でもトルコ、スペイン、ルワンダ、ケニア、マダガスカル、フランス、韓国等多くの国を旅行しており、訪問した観光地、様々な国々の紙幣を見せてもらいました。国境なき医師団の働きでも 2014 年 9 月にエチオピアでコレラ、エボラ出血熱のワクチン接種、看



病のために訪問されました。テントの中での生活、体験を赤裸々に話されました。

ナイジェリアの首都はアブジャであり、農業、鉱業、石油で経済発展が急速に進んでいる国であり、アフリカで南アフリカ共和国を抜いて第一位になっており GDP が 4450 億ドルで世界 27 位であるとのことです。人口は現在 2 億 1700 万人であり、年々増えており 2050 年にはアメリカの人口を抜くことが予測されています。公用語は英語で 540 の言語が話されています。発展・成長が著しいナイジェリアのことを知る良い時間を過ごしました。  
(石花健太)

7/16 Jimmy Tinka さん  
(土) (カナダ)

7月のゲストは、カナダ・エドモントン出身の Jimmy Tinka さんです。12 年前に来日され、現在は大阪市内の高校で英語教諭として活躍されています。

お話は Jimmy さんの母国であるケニアから始まりました。13 歳でカナダに移るまでナイロビに住まわっていました。ケニアと聞けば、大草原を駆ける動物を思い起こしますが、首都ナイロビはそれだけでなく大都会であり、自称 Big city boy だったとのこと。きっと smart な少年時代を過ごされたにちがひありません。しかし、カナダに移住後は忽ち両国の gap を経験します。当初は学校教育の違いにも戸惑いがあったようです。

カナダは従来より移民を多く受け入れており、また人口の約 20% は visible minority (先住民族を除く非



白人系人種) であるため言語、宗教、習慣等が多様であり、それらが open minded な国民性を形成しているとのこと。英語とフランス語の二つの公用語を認めているのもそのような背景からだと考えられます。そんな中 Jimmy さん一押しは、Edmonton Heritage Festival。毎年 70 を超えるパビリオンがエドモントンの公園内に設置され、各地域・国の文化等が紹介される催しで人々が最も楽しみにしている祭りの一つだそうです。コロナ禍が明ければ私達も是非訪れてみたいものですね。  
(福塚篤子)



English Open Café こぼれ話

驚かれるかもしれませんが、English Open Café はまぎれもない和製英語です。日本で「オープンカフェでコーヒーを飲む」というと店の屋外のテーブル席を意味しますが、欧米では sidewalk café や outdoor café というそうです。

2005 年から始まった English Open Café は、各国のゲストをお招きして英語でプレゼンテーションをしてもらいます。「いろいろな国の文化・宗教・政治・教育・生活と触れ合おう」が目的の一つなので、つつい堅苦しい内容を想像します。地理が弱い人にとっては、地球儀でどこにある国かもわからないし首都名は何か、人口は日本より多いのか少ないのか。宗教に至っては日本人にとっては



はなかなか理解しがたいテーマもあります。その上ゲストが英語で話すのですから、周りの人が話の内容で笑っているのに、自分は意味が分からずお愛想

で笑わなければならないなど、参加するためにはハードルが高く思われ、勇気も少し必要です。



でも、安心してください。お国自慢の料理や「母の味」の写真を見せてくれる時の「ああ、今食べたい!!」と思わず口走るゲストの言葉や、国歌を歌ってくれる誇らしげな顔。民族衣装の美しさ。そんなことを体験できるのが English Open Café です。

今はコロナ禍で、休憩時にコーヒー片手におしゃべりすることはできませんが、2005 年の café 開店時の思いである、心を開くの“open”がますます広がっています。質問も英語だけでなく、日本語でも OK。日本語が流暢なゲストは、とても上手な日本語で答えてくれます。いままでガイドブックとかインターネットでしか知らなかった、生のお話を聞きにぜひ来店ください。

毎月第 3 土曜日午後 1 時半からマドカホールで開催しています(9 月は除きます)  
(EOC 企画委員会)





国際交流の中で不可欠なのは外国語です。しかし、日本語は他の外国語と比べて、文字も文法も全く違う言語です。これが私たち日本人にとって外国語を学ぶ上で大きなハンディキャップとなっています。また古来から海に囲まれ外国文化に接する機会が少なかったことから、無意識のうちに外国語にコンプレックスを持つようになり、苦手意識を持つのは当然です。

このような背景のなかで、皆さんはどのようにして外国語に接し学習しているのか、苦労話や感じていることを自由に投稿していただきましょう。

Let's learn foreign language.

## 《オーストラリアの教職課程へ》

オーストラリアに渡った1992年、無謀にも何の準備もしないで教員になるために必要だった English Language Skills Assessment Test (英語能力評価試験)を受験。みごとに不合格だった。詳しい試験の結果を渡されるわけでもなく、リーディングだけがレベルBで総合的に合格とはならなかった。4スキルすべてにおいて実践的な試験で、シドニーに到着して半年も経たない私が現地の教員の仕事内容など知る由もなかった。リーディングテストは、教育関係の新聞記事や文献の長文読解が主で何と言っても読む時間が足りなかった。

4年後、今度は真面目に教員になろうと思い10週間の English for Teachers という英語コースも受講した。このコースは、英語を公用語としない国で教員をしていた者のために開講され、2週間の学校訪問も含まれていた。能力評価試験の準備もできてめでたくリーディングもレベルAとなり、いよいよハイスクールで教壇に立てることになった。ところが音楽の教員の募集がなかなかなく、教育省から日本語の教員が今後もっと必要となるので興味はないかと勧められた。日本語のネイティブスピーカーであること、日本の教員免許が有効であることで、教職課程の一部だけを履修すればよいとのことだったが、オーストラリアで教員になるのなら現地の教職課程を全部履修しようと決め学生に戻った。(三森すみ代)

## 日本語指導補助員

日本人なのに・・・



私は、岸和田市国際親善協会に今年の2月に入会しました。現在、岸和田市立岸城中学校夜間学級に勤めています。4年間は教諭として2年間は日本語指導支援員として勤めています。夜間学級に来ることがなければ日本語について深く考えたこともなかったと思います。赴任して間もなく生徒から「～てくれた」「～てもらった」の違いを聞かれた時、日本人なのにうまく説明ができず悩みました。今まで当たり前のように使っていた日本語の難しさを痛感させられました。漢字の指導についても、非漢字圏の方へわかりやすいテキストや指導方法はないのか諸先輩の先生に伺うことも多々ありました。また、校内研修で「日本語は外国語である。」という講師の言葉がずっと頭の隅にあり、生徒に正しい日本語を指導するために自分自身が理解しなければならぬと考え、養成講座420時間を受講しました。

また、今年度は大人の指導のみならず小・中学校の外国籍の子どもへの指導にもチャレンジさせていただきました。かわいいと思う反面、ていねいに日本語アレルギーにならないように指導しなくてははいけないという思いをもって1コマの授業を大切にしています。授業後、習った文型が使えるように教材・口頭練習を中心に取り組んでいます。毎日母国の母と電話をしているFさん、母親に日本語を教えているSさん、人なつこいKさんと日本人としてできることを彼らに返していこうと思います。彼らの気持ちに寄り添った指導を心がけていきます。(藤田妙子)



エルムンドとはスペイン語で「世界」を意味します。国際化の時代にあわせ世界のカルチャー、ファッション、旅行、ライフスタイル等々がどんどん変わりつつあります。その中で皆さんが日常生活で感じたことを題材にとらわれず、自由に投稿していただくという趣旨のコラムです。

## 《J.F.K.in Dallas》

「日本国民の皆さんに初めて衛星を中継してテレビで挨拶できることをうれしく思っています。これまで掛け橋のない大きな隔たりとさえ思われてきた太平洋を越えてテレビ放送が可能になりました。これは世界が狭くなったことを意味するとともに、日米間やその他の国々との間で密接な関係を築くことがいかに大切であるかを示すものです。」

これはテレスター衛星を通じて1963年11月23日に日本で放送される予定だった John



F. Kennedy大統領から日本国民へのメッセージであったが、前日 Texas州 Dallasで遊説中暗殺されたため世界で初めてのこの衛星放送は中止された。

1961年1月 Kennedy が史上最年少で第35代アメリカ合衆国大統領に就任したが、奇しくも Barack Obama第44代大統領がこの世に生を受けた年でもある。Kennedy の就任式での演説はすばらしく、今でも私の英語学習の礎となっている。特に印象深い一節は「In the past, those who foolishly sought power by riding the back of the tiger ended up inside.」/「過去には愚かにも虎の背中にまたがって権力を志向した者が最後は虎に食われてしまった。」である。これは今日のロシアのウクライナ侵攻を彷彿させてくれる。

後年、商用で Dallas を訪れる機会があった。暗殺現場ディーリープラザにある当時の建物は Texas School Book Depository/ テキサス州教科書倉庫であったが、6階を除きダラス郡役所ビルに所有者が移転されている。狙撃現場6階は The Sixth Floor Museum で狙撃が行われた場所をそのまま博物館として保存しているのはいかにもアメリカらしいアイデアである。無料で日本語音声ガイド機器の貸し出しがあるので良く理解できる。但し6階全体が写真撮影禁止となっているが、この博物館のハイライトと言える「オズワルドが狙撃したとされる現場」はガラス張りの中に入れないが、そのまま再現されている。「眼下をオープンカーで通過するのはあまりにも近い距離」というのが実感である。今も謎に包まれた Kennedy 大統領暗殺事件だが、76年後の2039年に暗殺に係るすべての極秘情報が公開される予定で、そのタイミングは事件関係者全員が亡くなってから公開する必要があるという理由らしい。(塩屋 裕)

## 日本語サロン便り

《福祉総合センター》



福祉総合センターサロンは、岸和田市立福祉総合センターで日本語サロンを金曜日の午後7時から8時30分まで開催しています。

現在、ボランティア8名とサロン生約13名が

在籍しています。サロン生の出身国は、韓国・中国・ネパール・パキスタン・ベトナムです。

コロナ禍以前は、サロン生の大半が日本語検定の試験勉強に取り組む技能実習生でした。最近は、新型コロナウイルス感染症の影響で技能実習生が少なくなり、長期在住の方が半数を越えています。福祉サロンへ来られている方は、主に仕事のため日本語レベルの向上を目的とされており、方向性は多様です。基本的にはマンツーマンのスタイルで目的にあった学習ができるように対応していますが、サロン生数が、ボランティア数を上回っているため、レベルと学習目的が同じような方は2～3人のグループで勉強しています。

みなさん熱心で、週末の疲れた金曜日に休まずに来られます。そんなサロン生の方々の努力する姿にパワーをもらっております。

コロナ禍からなかなか抜け出せない日々が続いておりますが、幸いにも福祉センターは、2部屋使用することができるので、三密を避けながら会話なども含め各自



学習に取り組むことができます。サロンには賑わいがあり、それぞれが楽しい時間を過ごせてもいい雰囲気です。新型コロナウイルス感染症が拡大して以降、日本文化を楽しんでもらえる行事や交流の機会が減っているため、様子を見てできる行事を検討中です。

今後、新型コロナウイルス感染症による入国規制の緩和が進めば、来日する技能実習生が増えサロンも一層に賑わってくるのが予想されます。現状でもボランティア数がギリギリの状態ですが、協力して楽しい学びと交流の場としてみんなが笑顔で帰って、翌週元気に来ることを励みに引き続き活動していきます。

日本語ボランティアの皆様、ぜひ福祉サロンへご参加ください。お待ちしております。

(宮崎真知子)



## 和泉高校留学生日本語指導

チャン ユン シン (Chan, Yun Xin) さん (マレーシア)



コロナ禍で留学生の受け入れがなかった和泉高校に3年ぶりに留学生が戻ってきました。

ユンシンさんはマレーシアのポルネオ島北部にあるサバ州のコタキナバル出身の17歳、今年の7月から来年の3月までホームステイをして、和泉高校に通っています。マレーシアの中学校で日本語を勉強し、日本の文化に興味を持ち、日本に行きたいと思ったそうです。彼女にとって日本語検定試験も目標の一つですが、日本の文化を知ること、日本人の友達をたくさん作ることも大きな願いです。

和泉高校に来てすぐに夏休みになったので、9月の新学期からが本格的な日本語の指導です。日本語を指導しているのは、以前マレーシアで日本語の教師をしていた経験のある岸和田市国際親善協会員のMさん。

ユンシンさんは和泉高校のグローバル科に在籍

しており、普段は日本人生徒と机を並べ日本語で国語や化学などの授業を受けています。週に2時間だけ教室から離れ、マンツーマンで日本語の指導を受けています。取材の日も、日本語のテキストに沿って進められていたのですが、彼女の書くひらがなやカタカナの綺麗なこと、漢字も正確な筆順で丁寧に書くことに驚かされました。

休憩時間に、夏休みのことを聞くと、ホストファミリーが伊勢神宮に連れて行ってくれたこと、そして浴衣を初めて着たことを、写真を見せながら嬉しそうに話してくれました。「日本の食べ物で一番好きなのは何？」の質問には、「きつねうどん」。留学期間が終わったら、マレーシアで大学に進むとのこと、この和泉高校での留学生活が彼女の今後の人生の大きな財産になることを期待します。

(取材：広報部会)





やさしい

日本語



第11回

# 岸和田をいっしょに 歩きましょう! 第4回

## おがみじんじゃ 【意賀美神社と とんぼ池公園】

### ① 意賀美神社

ねん なが あいだ あめ 884年 長い間 雨が 降りませんでした。天皇は 菅原道真に  
あめ ふ いるの めいれい  
雨が 降る お祈りを するように 命令しました。  
じんじゃ まえ つたがわ なが  
神社の 前に 津田川が 流れていて  
たき  
滝が あります。  
たき みず しんぜん いの  
滝の水を 神前に おいて 祈ると  
かなら あめ ふ  
必ず 雨が 降りました。それで  
じんじゃ あめ ふ だいまようじん  
この神社のことを 「雨降り大明神」と  
よ たき  
呼びます。そして この滝を  
あめ ふ たき よ  
「雨降りの滝」と 呼びます。  
じんじゃ もり  
神社の 森には くすのき・やまももなど  
しゅるい き  
70種類くらいの 木が あります。  
きしわ だし てんねんきねんぶつ  
これは 岸和田市の 天然記念物です。



### ② とんぼ池公園

こうえん こ あそ  
公園には 子どもが 遊ぶ ところが  
たくさん あります。  
おべんとうを 持って 遊びに 行ってください。



はな  
花も たくさん あります。  
だに がつ  
もみじ谷では、11月から  
がつ は  
12月、もみじの 葉が  
あか  
赤く なって きれい  
です。  
こうよう  
これを 「紅葉」と  
いいます。  
がつ ばらえん しゅるい ぼん さ  
11月 バラ園で 200種類 2300本の バラが 咲きます。

# 地球家族

## 《Score》



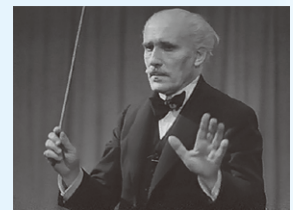
電子ピアノや電子ドラムなど、デジタル楽器はよく見かけますが、最近見た弦楽四重奏団は、楽譜をiPadに入れて、

譜面台に置いてありました。

音楽の世界でもデジタル化の波が押し寄せています。音楽大学で指揮を専攻している学生が、楽譜がいっぱい詰まった重そうなスーツケースを持って学内を移動している映像を見たことがあります。iPadに入れば何百、何千の交響曲の楽譜も片手で持ち運びできるでしょう。

一方、20世紀前半を代表する指揮者のトスカニーニの指揮台には譜面台も楽譜もなかったそうです。

彼の暗譜能力は驚異的であり、合奏曲約250曲の全パート、オペラ約100曲の



アルトゥーロ・トスカニーニ

譜面と歌詞、更に多くの小品を完璧に覚えていたそうです。しかしこれには裏話があります。トスカニーニは極度の近視であり、譜面台に置いた楽譜が見えなかったため、本番もリハーサルも暗譜で指揮せざるを得なかったそうです。

記憶力の低下を実感する最近、メロディーはなんとか頭に入っても、歌詞やコードが覚えられず、譜面をカンニングしようとする老眼のため読めない時、トスカニーニを思い暗譜の重要性を実感します。

さて、冒頭のiPadの楽譜の件、ページをめくるのはどうするのか。その1、携帯電話のように画面をなぞって次のページへ。その2、フットスイッチと連動させ、足で踏んで次のページへ。その3、iPadのカメラに向かってウインクすると、反応して次のページへ。技術の進歩はすばらしい。(内田満弥)

# Youは何しに岸和田へ?

## Why did you come to Kishiwada?

ブ チュン ズン

vũ trung dũng さん (ベトナム)



H自動車の岸和田南店でエンジニアとして働くズンさんは、ベトナム・ゲアン省出身の26才。

### 「苦勞しながら大人になる」

18才の時に日本語もわからないまま、先輩や友人のいる大都会ではなく、知り合いも全くいない雪の降る仙台に一人でやってきた。

スーパーで容器のラベルの「油」と「酢」の漢字がわからず間違っ買ってしまった事もあるが、日本語を猛勉強し、3年後には日本語検定の2級に合格。大阪に来てからは、H自動車の整備士育成学校へ。寮で毎日予習をして授業に出席、留学生は3年かかるところを日本人と同じ2年間で卒業。

### 「やっているうちに好きになる」

エンジニアとして働くが、もともと自動車とかバイクが大好きな少年ではなかった。専門学校で学び、就職し毎日自動車と触れていることで、自動車の事、整備士の仕事がどんどん好きになってきている。

### 「わからないことは何でも聞く」

今の車はハイテクが日々進んでいるので、わからないことも多いが、そんな時は周りのスタッフにどんどん聞いて何でも教えてもらうことが大事。



### 「みんなが笑ってくれること」

外国人の整備士が担当とわかり、お客さんが少し不安な表情になることもあるが、自分が整備をした車で、お客様が喜び笑ってくれる。また一緒に働くスタッフも喜び笑ってくれる。

そして整備した自動車が喜び笑ってくれていると感じることが一番嬉しい。

今回の取材中にズンさんが話してくれたキーワードはすべて心に響きました。安易な方法を選ぶのではなく、あえて困難な中に飛び込みその中で自分を磨き、成長している姿は今の日本人も見習う事が必要と教えられました。

話をしてくれる時の輝く、熱い瞳が印象的なズンさんですが、ベトナム出身の奥様との間にこの10月にベイビーが誕生の予定を話す時の嬉しそうな優しい眼差しも素敵でした。  
(取材：内田満弥)



勤め先で、仕事仲間たちと(前列左がズンさん)

## Information

### ■「岸和田市市制施行 100 周年記念」

多文化共生講座

「単独自転車世界一周&家族で6大陸大冒険！」

【と き】11月19日(土)14:00~16:00

【講師】坂本 達さん

【ところ】福祉総合センター

\*詳しくはチラシをご覧のうえ事務局へお申込みください。

お詫びと訂正

「にゅ〜とびあ岸和田」132号に掲載しました次の記事におきまして誤りがありました。

■1ページ「日本語サロンボランティア」の表彰者  
ご氏名 (正) 松本光雄 氏  
(誤) 松本光男 氏

皆さま並びに関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

### ■ふれあい交流祭スタッフ募集

【と き】11月23日(祝・水)10:30~16:00

【ところ】関西国際センター \*事務局へお申込ください。

### ■English Open Café

各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンをしていただき交流を図ります。

【と き】9月以外の第3土曜日 13:30~15:30

【ところ】マドカホール 3F 視聴覚室 \*11月は、5日(土)に変更です。

【費用】無料 \*事務局へお申込みください。(先着20名まで受付)

### にゅ〜とびあ岸和田 No.133

お問い合わせや感想などは事務局まで

編集担当 内田満弥・塩屋裕・西村紀子・三森すみ代

TEL&FAX (072)457-9694

https://ifa-kishiwada.rinku.org/ メール ☒ kokusai@sensyu.ne.jp

